

令和5年3月28日

狛江市教育委員会教育部
図書館長 細川 浩光 様

狛江市立図書館協議会
委員長 小刀稱 進

第四次狛江市子ども読書活動推進計画の進捗管理と成果検証について（答申）

令和4年6月2日付け狛教教函発第000035号により諮問を受けたこのことについて、下記及び別紙のとおり答申いたします。

記

●乳幼児期の読書活動推進について

【担当：保育園、児童館・児童センター、子ども家庭支援センター、各地域センター、公民館、図書館】

各施設における蔵書の充実が必要である。予算の状況から蔵書の充実に苦慮している施設に対しては、より一層の支援に努められたい。

また、おはなし会等の子ども読書行事への参加を促すため、利用者が様々な方法で情報にアクセスできる環境の充実や、多様なライフスタイルに合わせたイベントの実施等が必要である。

電子書籍の活用は多様な手段で本にアクセスすることができ、バリアフリーとしての活用が可能である一方、乳幼児期から紙の本に触れ、ページをめくるなどの行為も大事なことであるとする。電子媒体のメリット・デメリットを注視しつつ、そうした情報の周知にも努められたい。

今後は図書館が主導した研修等の実施や、各施設における地域のおはなしグループとの連携をより一層推進するための取組を進めるとともに、多数の子どもが通う私立保育園等の状況の把握にも取り組んでいただきたい。

●小・中学生の読書活動推進について

【担当:小・中学校、指導室、児童館・児童センター、学童クラブ、図書館】

電子書籍の活用はタブレット端末の配布等で閲覧環境が整備されており、様々な方法で本に触れることができる意義がある一方、データベースよりも多くの種類がある紙媒体の二次資料を活用するための力を身につけることも必要である。収集する資料のバランスを見極めることに加え、児童生徒自らが蔵書を検索できる環境の整備を検討すること、また共有ガイドラインの作成や「学校図書館活用ノート」を活用することなど、統一的な方法で図書館利用や資料の活用方法といった事項の指導・育成に取り組むべきと考える。

また、図書館における各施設への支援について更なる啓発・充実に努めるとともに、施設間の連携により様々な場所で読書環境を充実させる取組を進めていただきたい。加えて、これまで市が取り組んできたことの継続性を担保し、積み上げてきた財産が次世代に引き継いでいけるよう努められたい。

●高校生等の読書活動推進について

【担当:図書館】

高校生等が参加することの楽しみをより一層感じられるイベントの実施や、高校生世代が利用する施設と連携して効果的な周知を図るなどの取組が必要である。高校生等の利用が更に充実するための取組を実施していただきたい。

●地域における読書活動推進について

【担当:各地域センター、公民館、図書館】

図書館と各図書室施設間の連携が、図書室運営の基本的な事項に留まっているように見受けられる。地域の身近な場所で子どもたちが多くの本に触れることができ、また子どもと本をつなぐ活動に携わる人の学びがより充実したものとなるよう、図書館から連携強化を働きかけ、図書館と各図書室施設間の連携による取組を進めていただきたい。

●普及・啓発について

【担当:図書館】

子ども読書啓発事業の配布タイトルの見直しや、配布後の継続的な読書推進に繋げることが必要である。図書館以外の施設とも連携して、配布タイトルの検討やイベント時における読書習慣の形成に繋がる取組の推進に努められたい。また各種イベントについては、取組のPRと「読書の楽しみ」を伝えるための更なる充実が求められる。各学校図書館及び各図書室等とも連携してより一層の取組を進めていただきたい。

1 計画概要

計画	乳幼児期の読書活動推進
概要	乳幼児の心の発達には温かな語りかけが必要です。ぬくもりの中で優しいことばを聞き、人と心を通わせて信頼関係を築くことで成長していきます。父母やその他の保護者による積極的な語りかけの重要性について広く理解を促し、家庭での実践に繋がるよう努めます。
現状と課題	図書館から連携強化を働きかけ、各施設での読書活動の充実を図るとともに、地域の方々に協力いただきながら様々な取組を推進することが求められる。施設において蔵書の充実を図るに加え、ライフスタイルの多様化にも配慮したイベントの実施や情報発信を行っていく必要がある。

担当部署・施設
保育園 児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館 図書館

2 計画に係る取組内容

No.	個別内容	取組の方向性	具体的取組	担当	前年度までの取組状況（成果）	取組内容・予定（令和4年度）	今後の取組達成予定等
1	(1) 乳幼児期の読書活動 ①これから親になる方への絵本の読み聞かせ案内	絵本の読み聞かせやわらべうたは、親子が触れ合うきっかけを作る役割を果たします。父母やその他の保護者による積極的な語りかけの重要性について広く理解を促し、家庭での実践に繋がるよう努めます。	(ア) 妊娠中の方などに、図書館利用案内や推薦絵本リストを配布します。 (イ) 読み聞かせの意義や推薦絵本リストについて、子ども関連施設等と連携し、これから親になる方に理解が図られるよう努めます。	図書館	(令和5年度作成時から記載)	図書館の入口や、子育て関連書籍コーナーの近辺に利用案内や推薦絵本リストを設置し、周知・配布を行っている。読み聞かせの意義・手法や推薦図書リストを記載した冊子を各施設へ配布し周知を図っている。	
2	(1) 乳幼児期の読書活動 ②ブックスタート事業の継続	乳幼児期から身近に本がある環境を作り、本に親しむ機会がもてるよう努めます。	(ア) 対象の乳児とその保護者に図書館職員等が絵本の読み聞かせを行い、その絵本を1冊贈呈する「ブックスタート事業」を行います。絵本を介して親子が向き合うきっかけを作り、心触れ合うひとときとなるよう努めます。 (イ) 図書館が作成した対象年齢別の絵本リストを配布し、乳幼児の保護者が様々な絵本を手にとることができるよう図書館の絵本を展示します。 (ウ) 保護者向けの図書館利用案内を配布します。 (エ) 希望する保護者と対象の乳児の図書貸出券を作ります。	図書館		感染症拡大防止対策をとりながらブックスタート事業を実施し、図書館職員等による絵本の読み聞かせの実演と絵本の贈呈、絵本リストの配布により家庭での読書啓発に努めている。また、利用案内の配布と希望する保護者・対象乳児の図書貸出券を作成し、継続的な図書館利用に繋がるよう取り組んでいる。児童書コーナー内に絵本展示スペースを設置し、子どもの興味関心を惹く工夫をしながら季節や時事関連等の絵本を展示している。	
3	(1) 乳幼児期の読書活動 ③各施設による取組	乳幼児関連のイベントを開催し、地域交流の機会がもてるよう努めます。	(ア) おはなし会等の子ども読書関連イベントや講座などの実施に努めます。 (イ) 狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てネット」等を活用し、乳幼児関連イベントのPRを行います。	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館		【児童館・児童センター】読み聞かせイベントを毎月開催している。また、クラブ活動でも活動内容や季節にあった絵本の読み聞かせを行い、絵本に触れる機会を設けている。月に1回は地域のおはなしグループによる乳幼児親子向けおはなし会を行っている。児童館全体の行事や活動(乳幼児等も含む)を市の広報等に掲載している。また、乳幼児親子へ、おはなし会への参加を促す声かけをしている。 【子ども家庭支援センター】たんぼ広場に来所する親子に絵本の読み聞かせを月曜日～土曜日まで、ほぼ毎日実施した。狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てネット」等を活用し、乳幼児関連イベントのPRを行った。 【各地域センター】おはなし会等の子ども読書関連イベントを実施した。 【公民館】子どもと保護者を対象とした西河原公民館図書室の「おはなし会」では、絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居や折り紙、季節の工作など多彩なプログラムを実施している。	【児童館・児童センター】絵本以外の紙芝居や、パネルシアターなどを取り入れられていないため、今後の活動に加えていく。
4	(1) 乳幼児期の読書活動 ④保育園における読書活動の充実	乳幼児が日々の生活の中で本に親しむために、保育園における読書活動の充実を図ります。	(ア) 乳幼児の発達に適した蔵書の充実に努めます。 (イ) 図書館の団体貸出を活用します。 (ウ) 保育士は、日常の保育の中で継続して読み聞かせを行います。 (エ) 地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし会の実施に取り組みます。 (オ) 地域交流（地域の未就学児とその保護者を対象にした行事）において、乳幼児が積極的に本に触れる機会を設けます。	保育園		季節や発達、行事の取り組み、子どもの興味などに合わせた絵本に入れ替えを行い、蔵書の充実に努めている。また、図書館の団体貸出を活用し、乳幼児が様々な本に触れる機会を確保している。幼児クラスは午睡時に読み聞かせを行っており、聞く力、想像力を養っている。また乳児も毎日、子どもに読んであげたり、絵本を通して会話を楽しむ機会が多い。一部の施設では、おはなしグループの方をお招きし、4・5歳児に絵本の読み聞かせをしていただいた。一部の施設では、定期的に絵本通信を発行し保護者に情報発信をしている。	地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし会の実施、地域交流における取組は感染拡大防止等により見合わせている施設があり、感染状況の推移を見極めつつ拡大していく。クラス交流の一環として担任以外の職員がその年齢にあった絵本、紙芝居を選んで実際に読んでみることを取り組みたい。
5	(1) 乳幼児期の読書活動 ⑤図書館における読書活動の充実	図書館では、乳幼児の好奇心や感性を養うのに有用で、特に長く読み継がれている絵本を中心に、よりよい絵本を選定しその収集と提供に努めます。また、子ども関連施設への団体貸出の充実に努めます。	(ア) 数ある絵本の中から、特に乳幼児向けの作品を集めた「赤ちゃん絵本コーナー」を設置し、手に取る保護者が選びやすい工夫をします。 (イ) 初めて赤ちゃん絵本を選ぶ人にもわかりやすく、月齢に応じた絵本を紹介するリスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」の活用を努めます。 (ウ) 年齢別のおはなし会や季節の行事にちなんだおはなし会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症等の拡大防止対策を徹底し、新しい生活様式に対応した形での実施を工夫して、乳幼児が絵本やわらべうたに親しむ機会を設けます。 (エ) 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」図書館で会える絵本に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。 (オ) 外国語を母語とする子どもや帰国子女の支援等のため、外国語の絵本を充実させます。 (カ) バリアフリー関連資料の収集に努め、市販の点字付き絵本を購入するとともに、布の絵本の製作や絵本点訳に取り組みます。 (キ) 「こまえ電子図書館」で絵本や児童向けの電子書籍の収集に努めます。	図書館		乳幼児向けの作品を集めた赤ちゃん絵本コーナーを設けるとともに、「赤ちゃんに贈るファーストブック」や各種推薦図書リストを配置し、リストを見ながら絵本を手にとって選ぶことができるよう努めている。感染症拡大防止対策を徹底しつつ各種おはなし会を実施していることに加え、屋外スペースを利用した形式でのおはなし会を実施するなど、乳幼児が絵本やわらべうたに親しむ機会を提供するよう取り組んでいる。各種推薦図書リストを中心とした団体貸出用の絵本セットを用意する他、外国語の絵本やバリアフリー関連資料、布絵本・点字絵本、絵本や児童向けの電子書籍の収集に努め、施設への支援と資料の充実に努めた。	

6	(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	①家庭における読書支援のための取組		(ア) ブックスタートを経て、その後の読み聞かせ活動を継続して実践できるよう、家庭での取組を支援するフォローアップ事業のあり方について検証します。 (イ) 乳幼児と一緒に図書館へ来館する保護者のための利用案内を配布し、図書館利用の啓発に努めます。 (ウ) 上記の利用案内をブックスタート事業や子ども関連施設等で配布するとともに、ホームページに掲載するなど、効果的な周知を図ります。	図書館		感染症拡大防止対策をとりながら年齢別おはなし会の回数を増やすなど拡充に努めるとともに、読み聞かせ・絵本の選び方・わらべうたに関する講座を開催し家庭での取組支援を行っている。 家庭における読書活動の意義や方法、乳幼児の親子での図書館利用方法等に関する案内を作成、館内や各子ども関連施設等で配布し、周知を図った。	
7	(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	②読み聞かせに向け絵本のリストの作成・配布	多くの絵本の中から何を選んだらよいか迷う保護者等に向け、絵本の紹介リストを定期的に改訂して配布します。	(ア) 「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」を作成し、必要に応じて改訂を行い、常に魅力ある新鮮な情報を提供します。 (イ) 上記のリストに掲載した絵本コーナーを設置し、保護者等が様々な絵本を手にとることができるよう努めるとともに、貸出利用を促進します。	図書館		各種推薦図書リストの改訂を行うとともに、リストに掲載した絵本を専用コーナーに設置することにより、保護者等が様々な絵本を手にとることができるよう工夫を図った。 読書手帳を作成、配布するとともに、館内での手帳貼付用シールプリンタを設置するなど貸出利用促進に繋がる環境を整備した。	
8	(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	③各施設における読書活動の広報	各関連施設における絵本の読み聞かせ等の読書活動について、保護者の目に留まるような広報に努めます。	(ア) 各施設の掲示やイベント情報案内、各施設の発行物等で広報し、周知に努めます。 (イ) 各施設のホームページやSNS等を活用し、効果的な広報周知が図られるよう検討します。	児童館・児童センター 各地域センター 公民館 図書館		【児童館・児童センター】毎月の季節に合ったおすすめの絵本を展示している。また、読み聞かせイベントやクラブ活動の様子をSNSで発信し周知している。 児童館内外に掲示をし、また児童館の毎月の発行物「月の案内」(お知らせ)を出し、周知に努めている。 また、乳幼児親子へ、おはなし会(読み聞かせも含む)への参加を促す声かけをしている。 【各地域センター】各施設の掲示板、広報こまめ、ポスターにて周知を実施した。 【公民館】ポスター掲示や館内・3歳児健診等でのチラシ配布に加え、広報こまめ・図書館ホームページ等を活用し、周知や情報案内に努めている。 【図書館】 図書館ホームページやSNS等を活用し周知に努めている。	【児童館・児童センター】乳幼児関連施設へのチラシ配布などが行えていないため、今後の実施を検討する。
9	(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	④保育園における図書の充実と保育士の研修	乳幼児が本を身近に親しむために、保育園における図書の充実を図ります。	(ア) 計画的に保育園における図書の充実を図ることに努めます。 (イ) 図書館の団体貸出や配本サービスを活用します。 (ウ) 保育士同士の情報交換や研修の機会を設け、絵本に関する知識向上に努めます。	保育園 図書館		【保育園】地域の図書館・室を利用する他、図書館のリサイクル図書なども活用し、様々な絵本・紙芝居等に触れられるよう図書の充実を図っている。 保育者の経験を通して、子どもたちに伝えていきたい絵本、お話を共有したり、乳児クラスの担任の会議で本の紹介をし合って勉強する機会を作るなど、知識向上に努めている。 【図書館】子ども関連施設への団体貸出の実施に加え、リサイクル図書の配布等を行い施設における資料の充実を努めた。 感染症の拡大等により図書館への来館が困難な際にも、配本サービスの実施により効果的な支援に努めた。	
10	(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	⑤図書館における乳幼児向け資料の充実と図書館職員の研修	乳幼児と保護者が近隣の図書館や図書室で本と親しむために、図書の充実を図るとともに職員の研修を行います。	(ア) 乳幼児向けの資料について、新しく出版される絵本から適切なものを選書するとともに、長く読み継がれている定番の本を必要に応じて買い替え補充し、利用に供します。 (イ) 都立図書館等の研修の機会を利用し、職員の子どもと本をつなぐ能力の向上に努めます。	図書館		新刊図書案内の他、見計りやブックフェア等を活用して新規発行図書の把握に努め、計画的に図書の補充と拡充を行った。 都立図書館等の各種研修への参加に加え、主催した児童行事実技講座に担当職員が参加するなどし、職員の能力向上に努めた。	
11	(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	⑥保育園への団体貸出と配本サービスの拡充	子ども関連施設の図書の充実を支援するため、図書館からの配本サービスを実施します。	(ア) 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。	図書館		子ども関連施設への団体貸出の実施、リサイクル図書の配布に加え、定期的な絵本セットの貸出を行った。	
12	(2) 乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備	⑦全ての子どもとその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする子どもとその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	(ア) 「布の絵本」や「絵本点訳」の製作グループによる活動を支援し、図書館資料として所蔵することで提供と普及に努めます。 (イ) 外国語の絵本を収集するなど、日本語を母語としない子どもの読書活動の支援に努めます。 (ウ) 「こまめ電子図書館」で読み上げ機能がある電子書籍の収集に努めます。 (エ) 利用支援サービスにおいて、希望図書の音訳を行います。 (オ) D A I S Y (デージー) 図書を活用した読書活動の支援を行います。 (カ) 利用支援サービスの情報発信に努めます。	図書館		点訳講習会等の実施による協力者への支援を行うとともに、外国語の絵本、布の絵本及び点訳絵本の購入・製作、読み上げ機能がある電子書籍の収集、音訳・DAISY資料の製作を行い、資料の充実を努めた。 他自治体図書館等からの相互貸借により、音が出る絵本やDAISY図書を借用することにより、提供資料の充実を図った。 図書展示や図書館だよりに加え、図書館ホームページに専用ページを設けて利用支援サービスの情報発信に努めた。	

3 施設アンケート等結果

具体的取組	取組の達成状況		達成割合	実施状況や課題等	担当施設
おはなし会等の子ども読書関連イベントや講座などの実施に努めます。	できている	8 施設	88.89% (8/9)	<ul style="list-style-type: none"> ・月に 1 回乳幼児向けに地域のおはなし会団体の方によるおはなし会を実施 ・専門の講師（地域在住のボランティアだが専門家）によるおはなし会を実施。原則として月2回、乳幼児・小学生の年齢別に実施（計4回） ・月 2 回おはなし会を実施 ・毎日実施している「たんぼぼタイム」というプログラム内にて大型絵本の読みきかせ等を行っている ・毎週おはなし会を行っている。絵本の読みきかせ、語り、紙芝居に加え折り紙や工作のプログラムを組んでいる ・毎月 1 回 0 才児対象の「はじめてのおはなし会」、七夕・ハロウィン・クリスマスの年 3 回乳幼児対象のおはなし会を行っている ・今年度 3 月に実施予定 ・年 9 回おはなし会、七夕会、クリスマス会を実施 ・関連事業として子ども 1 日図書室員を実施 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	1 施設			
狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てネット」等を活用し、乳幼児関連イベントのPRを行います。	できている	1 施設	11.11% (1/9)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月子育てネットにプログラム等掲載している ・こまえ子育てネットの存在は知っているが、どういったものか、何を載せることができるか知らないため ・課題であるが、基本は来館者対象に勧めたいのと、狛江市在住者以外の方が来ると館内は狭いので、ネット関係のお知らせ方法は検討中 ・今後実施予定 ・現在毎週のおはなし会以外のイベントの予定がない。人形劇などのイベントを行う際には「こまえ子育てネット」でPRしたい ・事業が多岐にわたるため、拡大することは難しい ・今後希望するが、IDの件等調整が必要 ・現在は定員を設け予約制としているが、コロナ収束後は前向きに活用したい 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	8 施設			
乳幼児の発達に適した蔵書の充実に努めます。	できている	2 施設	50% (2/2)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい本を買う予算は少ないので、図書館のリサイクル本を活用している ・絵本の予算が少なく、毎年各クラス 1 冊ずつしか購入できない ・予算的に充実と言えるほどではない 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	2 施設			
図書館の団体貸出を活用します。	できている	3 施設	75% (3/4)	<ul style="list-style-type: none"> ・立地的に図書館までの距離があるため、子どもと一緒に借りに行くことは難しいため 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	1 施設			
保育士は、日常の保育の中で継続して読み聞かせを行います。	できている	4 施設	100% (4/4)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日様々な題材のものを読み聞かせている 	保育園
	できていない	0 施設			
地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし会の実施に取り組みます。	できている	1 施設	25% (1/4)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めての試みで「こまえほんの会」様に依頼し、7月に4・5歳児クラスの子どもたちに絵本を読んでもらった ・感染症拡大防止の観点から外部の方を招くことが難しいこと、情報不足が課題 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	3 施設			
地域交流（地域の未就学児とその保護者を対象にした行事）において、乳幼児が積極的に本に触れる機会を設けます。	できている	1 施設	25% (1/4)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子保育体験を計画（感染症対策により一時中止） ・コロナ禍のため実施の機会を設けていない ・地域交流としては園庭開放をしているので、本に触れてもらう機会はない 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	3 施設			
各施設の掲示やイベント情報案内、各施設の発行物等で広報し、周知に努めます。	できている	8 施設	88.89% (8/9)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行の通信に内容を掲載している ・毎月発行している「月の案内」、随時張り出す館内掲示などでお知らせを行い周知に努めている ・毎月発行している「たんぼぼ通信」内にて告知 ・おはなし会プログラムを館内で掲示し、図書室で配布している ・ポスターを作成し館内と市内の施設に掲示している ・広報、公園への掲示を予定 ・ポスター掲示、チラシの配布、コロナ禍前は広報への掲載 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	1 施設			
各施設のホームページやSNS等を活用し、効果的な広報周知が図られるよう検討します。	できている	5 施設	55.56% (5/9)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで通信等見られるようになっている ・ホームページ内において通信を毎月UPしている ・図書館ホームページでPRしている ・中央図書館のホームページ、地域活性課のイベント情報に載せている ・図書館ホームページ等への掲載依頼 ・来館して見ていただくことを前提としているので、紙媒体のお知らせ・掲示のほか、来館者に職員が声掛けなどを行っている ・施設のホームページ・SNSはないが、若い保護者に届きやすいので検討したい 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	4 施設			
計画的に保育園における図書の充実に努めることに努めます。	できている	4 施設	100% (4/4)	<ul style="list-style-type: none"> ・園の絵本は毎年各クラス 1 冊は購入するが、足りないため図書館のリサイクル図書を活用している ・毎年図書館のリサイクル図書を活用 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	0 施設			
図書館の団体貸出や配本サービスを活用します。	できている	4 施設	100% (4/4)	<ul style="list-style-type: none"> ・配本サービスを活用し、保育の充実に結びついている 	保育園
	できていない	0 施設			
保育士同士の情報交換や研修の機会を設け、絵本に関する知識向上に努めます。	できている	3 施設	75% (3/4)	<ul style="list-style-type: none"> ・新刊や人気のある絵本は情報共有したり貸し合ったりしている ・自分以外の担任が準備した本を子どもたちに読みきかせていることで、新しい本の情報を得ている 	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
	できていない	1 施設			

4 総括

取組の総括
<p>基本的なおはなし会や読書関連イベント等の実施に加え、図書館の団体貸出を活用した読書活動の充実、掲示物・発行物での広報周知が図られている。各施設とも感染症拡大防止対策をとりながら様々な事業の実施に努めていることに加え、各種ブックリストの刊行や関連図書の展示、職員間の知識向上にも努めている。</p> <p>一方、各施設における蔵書の充実が必要である。特に施設アンケート等結果からは、保育園において予算の状況から乳幼児の発達に適した蔵書の充実について苦慮している状況が見受けられるため、より一層の支援が求められる。また、計画策定時のアンケート結果において、おはなし会等の子ども読書行事に参加したことがあるとの割合は低く、その理由として「日時の都合が合わない」、「行事のことを知らなかった」という回答が多く挙げられていたため、ターゲット層を絞ったとしても、施設利用者が様々な方法で情報にアクセスできる環境の充実や、多様なライフスタイルに合わせたイベントの実施等が必要である。</p> <p>電子書籍の活用は多様な手段で本にアクセスすることができ、バリアフリーとしての活用が可能である一方、乳幼児期から紙の本に触れ、ページをめくるなどの行為も大事なことであると考えられる。電子媒体のメリット・デメリットを注視しつつ、そうした情報の周知にも努められたい。</p> <p>今後は図書館が主導した研修等の実施や、各施設における地域のおはなしグループとの連携がより一層推進するための取組を進めるとともに、多数の子どもが通う私立保育園等の状況の把握にも取り組んでいただきたい。</p>

第四次狛江市子ども読書活動推進計画 取組状況シート

1 計画概要

計画	小・中学生の読書活動推進	担当部署・施設
概要	小学生になり学年が上がるにつれて、読書量や本に対する関心の差が大きくなっていく傾向にあります。さらに、中学生になると学校図書館に足を運ぶ時間も限られてきます。小学校の取組によって培われた読書力や読書体験を途切れさせることなく、中学校で継続させるための取組の工夫が求められます。学校図書館の蔵書や設備を充実させるとともに、運営体制を強化し、学校図書館の利活用を推進していきます。	小・中学校 指導室 児童館・児童センター 学童クラブ 図書館
現状と課題	小学校中学年から読書や図書館から離れていく傾向が見られる。電子媒体の活用等、読書を取り巻く環境の変化にも対応しながら、関連施設の環境整備を進めるなど、より一層の子どもの読書活動推進に取り組んでいく必要がある。	

2 計画に係る取組内容

No.	個別内容	取組の方向性	具体的取組	担当	前年度までの取組状況（成果）	取組内容・予定（令和4年度）	今後の取組達成予定等
1	(1) 小・中学生の読書活動 ①児童・生徒の読書活動のさらなる展開	各学校の特色に応じた読書活動の充実と展開を図ります。	(ア) 「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用します。 (イ) 児童・生徒が読書する時間の確保に努め、一冊を読み通す達成感を体験させるための読書イベント等を企画実施します。 (ウ) 児童・生徒の興味・関心や発達段階に応じて、自ら本を選び読書の幅を広げるための展示や掲示を工夫します。 (エ) 自ら友達や同世代に向けて読書の楽しさを発信するピアバトル等の活動を通じ、児童・生徒同士が交流できるよう取り組みます。 (オ) 委員会活動等の機会を通じ、校内において学校図書館が身近な学びの場であることが伝わる活動に取り組みます。	小・中学校 指導室	(令和5年度作成時から記載)	各学校において、「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用したり、展示や掲示、イベント等を工夫したりして、児童・生徒の読書活動に対する興味・関心を高めている。委員会活動等を通じて、児童・生徒が主体となった活動を展開し、読書活動の充実を図っている。	「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」については一人一台タブレットで閲覧できるようPDF化などのデジタル化を図り、活用の場を広げている。
2	(1) 小・中学生の読書活動 ②資料を使った課題解決の支援	児童・生徒が楽しく読書するだけでなく、各教科・領域や総合的な学習の時間に活用できる学校図書館を指すと共に、令和2年9月に児童・生徒へ1人1台配布されたタブレット端末を利用したデジタルコンテンツの利活用に努めます。	(ア) 児童・生徒が課題を解決するための手助けとなるような資料の収集に努め、資料の使い方など、必要な指導や助言を行います。 (イ) 学校の夏季休業期間中の課題や自由研究を支援するための資料収集と提供に努めます。 (ウ) 情報検索ツールの一つとして、オンライン百科事典を活用します。	小・中学校 指導室 図書館		【小・中学校、指導室】各教科等の学習において、学校図書館にある資料を基に情報収集を行っている。児童・生徒は自らの課題解決に向けて、収集した情報を活用しながら学びを深めている。 デジタル百科事典として、小学校では「sagasokka」、中学校では「ブリタニカ」を活用している。 【図書館】学校図書館機能を充実させるための資料の確保と、専用の配送便の運行により学校図書館の支援を行った。特に学校の夏季休業期間中の課題や自由研究に対しては、専用のコーナーを設けて集中展示をするなど、資料の収集と分かりやすい周知に努めた。	【小・中学校、指導室】引き続き、デジタル百科事典等を活用し、資料収集・活用を図り、課題解決学習の推進を行う。
3	(1) 小・中学生の読書活動 ③図書館見学・職場体験の受入れ	学年に応じた施設見学や図書館の仕事体験することで、より一層本や図書館に親しみをもつことができるよう、内容の充実に努めるとともに積極的に受入れを行います。	(ア) 小学生の校外学習の一環として、集団での施設案内や利用指導を行う機会をつくります。 (イ) 中学生の職場体験を受入れ、図書館の仕事体験する機会をつくります。 (ウ) 夏季休業期間中に小学生を募集し、「子ども図書館員」として図書館の仕事体験する機会をつくります。 (エ) 小・中学生からの取材依頼等を受入れ、図書館や本に親しみをもつことができる機会の充実に努めます。	図書館		感染症拡大防止対策をとりながら、市内及び近隣の小・中学校からの集団施設案内・見学、利用指導、職場体験、取材依頼等に対応し、図書館の利用啓発・図書館や本に親しみをもつことができる機会の充実に努めた。感染症の拡大により夏季休業期間中の子ども図書館員は実施できなかったが、感染症拡大防止対策を確保できる形式で「夏休み子ども図書館探検隊」を実施し、謎解きをしながら資料や情報の探し方を学べる機会を提供した。	
4	(1) 小・中学生の読書活動 ④児童館・児童センター・学童クラブにおける読書活動の推進	小・中学生が身近なところで本と親むことができるよう、児童館・児童センター・学童クラブでの読書活動の充実を図ります。	(ア) 児童館・児童センター・学童クラブでは、職員等による読み聞かせの時間をもつとともに、地域のおはなしグループによるおはなし会の実施に努めます。 (イ) 図書館の団体貸出を活用し、資料の充実を図ります。	児童館・児童センター 学童クラブ		毎月おはなし会を実施し、読書をするに楽しみをもてるよう働きかけをおこなっている。毎月、最低1冊以上の絵本もしくは児童向け図書を入れ、「今月の本」として紹介をし、読書活動推進をしてきている。地域のおはなしグループにお越しいただき、月に1回小学生向けおはなし会を行っている。	
5	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備 ①学校図書館の蔵書構成及び更新	児童・生徒が身近な場所で本と親むとともに、各教科・領域や総合的な学習の時間に利用しやすい蔵書構成を目指した蔵書の充実と更新を図ります。	(ア) 児童・生徒の読書への意欲をかきたてる資料を研究し、計画的に資料を整備します。 (イ) 各教科や領域の学びを広げ深めるための資料の研究や収集に努めます。 (ウ) 学級文庫用図書の充実に努めます。 (エ) 不必要になった資料の定期的な払い出しや除籍を行い、蔵書の更新・補充に努めます。また、そのための除籍の基準を検討します。	小・中学校 指導室		学校司書や司書教諭が学級担任や教科担任と連携を取り合い、各教科等の学習内容と関連の深い蔵書を学習資料として活用している。また、学級文庫用図書の充実に努め、児童・生徒が日常的に読書活動に取り組むことができるようにしている。	学校図書館連絡協議会において、除籍基準の検討を行う。
6	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備 ②学校図書館システムの運用	学校図書館システムの運用により、貸出・返却・予約・統計・蔵書点検等の業務を円滑に行います。	(ア) 学校司書や司書教諭が児童・生徒と接する時間を確保できるよう、円滑な業務遂行ができる環境を整備します。 (イ) 学校司書や司書教諭への操作研修を実施し、円滑な学校図書館運営に努めます。 (ウ) 学校図書館の運営に各種統計を参照するため、分類等の共通化を図ります。	小・中学校 指導室		教職員が児童・生徒と接する時間を確保できるよう、学校における働き方改革を推進し環境の整備に努めた。 新しく着任した学校司書を対象に学校図書館のPC操作研修会を実施した（5月）。学校図書館連絡協議会において、学校司書同士が情報共有を行い、円滑な業務遂行に生かしている。	学校図書館連絡協議会において、分類の共通化の検討を行う。
7	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備 ③学校図書館設備の充実	学校図書館が、児童・生徒にとって安全で親しみやすい居場所となることできるよう、学習や読書活動に役立つ環境整備を図ります。	(ア) 児童・生徒の利用動線に配慮し、書架配置や必要に応じて案内表示を工夫します。 (イ) 空間の確保、椅子・本棚等の不足や老朽化への対応に努めます。 (ウ) 児童への読み聞かせスペース、生徒が集中して学習できる机の配置等の工夫に努めます。 (エ) 児童・生徒が自ら蔵書を検索できる環境を整備します。 (オ) 新しい生活様式に対応した利用ができるよう、環境の整備等に努めます。	小・中学校 指導室		各学校において、新しい生活様式に対応した利用に配慮しつつ、児童・生徒が学校図書館を利用しやすいように机や椅子、読み聞かせスペース等の配置を工夫している。	椅子・本棚等の不足や老朽化への対応については、各学校の施設の状態を確認し、必要に応じて新しいものと交換することを検討する。児童・生徒に配布しているタブレット端末等を活用し、自ら蔵書検索できる環境を整備する。
8	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備 ④学校図書館連絡協議会の開催、研修の実施	学校図書館の運営には、利用指導計画を立案し実践する司書教諭と、それをサポートする学校司書の連絡調整が欠かせません。司書教諭の資質と能力の向上を図り、専門的な知識・経験を深めるための実務研修を行います。また、校長は司書教諭や学校司書と協力し、学校図書館の業務が円滑に行われるよう努めます。	(ア) 校内に学校図書館活用委員会を設置し、学校全体で学校図書館を活用します。 (イ) 学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭が身に付けるための研修を実施します。 (ウ) 小・中学校の司書教諭と学校司書が、連携を図るための合同連絡協議会を開催します。 (エ) 学校図書館の校内運営及び学校間の連携のあり方について協議し、共有ガイドラインを作成します。	小・中学校 指導室		市内の各小・中学校全校において、校内に学校図書館活用委員会を設置し、学校経営計画に基づく学校図書館の活用に努めている。学校図書館連絡協議会を開催し、各学校の司書教諭と学校司書が連携を深められるよう、情報共有や協議等を行っている。	司書教諭対象の研修については、東京都主催の研修を促している。学校図書館連絡協議会において、共有ガイドライン作成の検討を行う。

9	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	⑤学校図書館と市立図書館の情報共有	小・中学生の読書活動の推進を図るため、学校図書館と市立図書館は情報を共有し、サービスの充実に取り組みます。また、学校図書館の運営が円滑に行われるよう、学校図書館と市立図書館の連絡体制を整備するとともに実務に必要な研修を実施します。	(ア) 学校図書館連絡協議会へ図書館職員が参加し、情報共有を行います。 (イ) 小・中学校の学校司書と図書館職員が、連携を図るための学校司書・図書館司書連絡会を開催します。 (ウ) 図書館ホームページ上の掲示板を、各学校図書館と市立図書館の情報共有に活用します。 (エ) 業務を円滑に行うための、学校図書館実務マニュアルの作成を進めるとともに、必要に応じて見直します。 (オ) 効率的に業務を行うために研鑽が図れるよう、実務研修を実施します。	小・中学校 指導室 図書館	【小・中学校、指導室】5月の学校図書館連絡協議会に図書館職員が参加し、第四次泊江市子ども読書活動推進計画の概要について説明を行うことで、共通理解を図った。また、第四次泊江市子ども読書活動推進計画に基づき、学校で取り組めることについて協議を行った。 【図書館】学校司書・図書館司書連絡会を開催し、情報共有と連携の強化に努めた。インターネットを活用した情報交換・提供や、学校協力貸出ハンドブックの作成により学校図書館運営の支援を図った。 新規採用学校司書に対する研修を実施し、資質と能力の向上を図った。	【小・中学校、指導室】学校図書館連絡協議会において、マニュアル作成の検討を行う。
10	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	⑥市立図書館における小・中学生向け資料の充実	小・中学生が図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、資料の充実を図ります。	(ア) 小・中学生向けの資料について、新しく出版された本から適切な選書をするともに、長く読み継がれている本を点検・必要に応じて買い替え補充し、利用に供します。 (イ) 小・中学生のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。 (ウ) 郷土学習に関連する地域資料を積極的に収集します。 (エ) 「こまえ電子図書館」で小・中学生向けの電子書籍の収集に努めます。	図書館	新刊図書案内の他、見計りやブックフェア等を活用して新規発行図書の把握に努め、計画的に各分野における図書や地域資料、児童向けの電子書籍の収集に努めた。	
11	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	⑦市立図書館による学校図書館の支援	小・中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習することができるよう、学校図書館の取組を支援します。	(ア) 市立図書館から学校への配送便を定期的に運行し、学校図書館から要望のあった資料の貸出を行います。 (イ) 学習テーマに応じた資料セットや郷土学習資料セットのほか、一斉指導や集団読書用に図鑑や絵本・読み物の複本を揃え、効果的な支援の実施に努めます。 (ウ) 学級文庫用図書を準備し、必要に応じて配本します。	図書館	専用の配送便運行と貸出用資料の充実に加え、セカンドブック・サードブックを小・中学校で配布し、学校における読書指導に活用できるようにするなど、子どもが早期から読書に親しむ環境の充実を図った。	
12	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	⑧市立図書館ホームページ「こどもページ」の活用	市立図書館ホームページでは、子どもが自ら図書館の蔵書検索ができる仕組みを整備しましたが、引き続き子どもの読書活動推進のための情報発信に努めます。	(ア) 子どもの読書活動に関する取組の情報を掲載し、情報発信に努めます。 (イ) 学校図書館の支援に関する取組の情報を掲載し、情報発信に努めます。	図書館	図書館ホームページ、館内OPACにて子ども用の検索メニューを整備し、子どもが自ら検索できる環境を提供した。 図書館ホームページでは子ども読書活動推進の取組や学校図書館支援に関する取組について掲載し、情報の発信に努めた。	
13	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	⑨児童館・児童センター・学童クラブにおける図書の充実	小・中学生が身近なところで本と親むために、児童館・児童センター・学童クラブでの図書の充実を図ります。	(ア) 児童館・児童センター・学童クラブでは、計画的に図書の充実を図ることに努めます。 (イ) 図書館では、児童館・児童センター・学童クラブへ団体貸出を行います。	児童館・児童センター 学童クラブ 図書館	【児童館・児童センター、学童クラブ】小学生クラブでは夏休み期間中、読書推進イベントを行った。読んだ本の冊数を記録し、達成感を得られるようにし、その後継続的に読書をすることに興味を持てるように働きかけている。また、小学生向けの児童書の充実を図っている。 計画的に図書の購入を行い充実を図っており、特に児童館の図書室では、毎月、最低1冊以上の絵本もしくは児童向け図書を入れ、「今月の本」として紹介をし、読書活動推進をしている。 毎月新しい本を購入する他、年に3回子どもの欲しい本のリクエストを聞くアンケートを実施している。 8月には図書室に平和や戦争について考える機会として、戦争をテーマにした本の展示や掲示を行った。 在籍する児童の学年に適した図書を充実させるため、計画的に新規図書の購入を行っている。 【図書館】団体貸出の実施に加え、リサイクル図書の配布等を行い、各施設への支援に努めた。	【児童館・児童センター、学童クラブ】児童館の小学生以上向けのイベントとして図書に関連するものは行っていないため、今後取り入れ方を検討する。
14	(2) 小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	⑩全ての児童・生徒とその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする児童・生徒とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	(ア) 学校図書館では、読書補助用具を備え、読みへの抵抗を和らげる手立てを検討し、設備の充実を図ります。 (イ) 学校図書館では、館内掲示を大きくし、手順をわかりやすく表示するためピクトグラムを添えるなど、文字だけに頼らない工夫をします。 (ウ) 学校図書館では、特別支援学級の読書活動を支援する取組に努めます。 (エ) 市立図書館では、バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。 (オ) 市立図書館では、利用支援サービスの案内・周知に努めます。 (カ) 市立図書館では、特別支援学級に在籍する児童・生徒の施設案内のための来館に対応するとともに、特別な支援を必要とする生徒の職場体験を積極的に受入れます。 (キ) 日本語を母語としない児童・生徒の読書活動の支援に努めます。	小・中学校 指導室 図書館	【小・中学校、指導室】学校図書館連絡協議会において、特別な配慮を必要とする児童・生徒への支援について情報共有を行い、日々の取組に生かしている。 【図書館】バリアフリー関連資料・外国語資料等の収集と提供に努めたほか、図書展示や図書館だよりに加え、図書館ホームページに専用ページを設けて利用支援サービスの情報発信に努めた。 感染症拡大防止対策をとりながら、市内小・中学校における特別支援学級からの集団施設案内に対応し、図書館の利用啓発・図書館や本に親しみをもつことができる機会の充実を図った。	

3 施設アンケート等結果

具体的取組	取組の達成状況		達成割合	実施状況や課題等	担当施設
「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用します。	できている	9 施設 小6・中3	90% (9/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに独自の本の森カードを作り、読んだ本にはシールを貼るようして完読を目指している ・狛江本の森を使った授業を行っている ・図書の授業で、全学年で活用している ・利用指導等に活用している。冊子がないのが不便 ・学年ごとに配布して紹介している ・1年生のオリエンテーション時や長期休暇前、読書週間時に紹介している ・図書館に常設のコーナーを設置、レファレンスの際には積極的にすすめている ・学級文庫に一定数入れるようにしている。読書月間に「ようこそ～」の本を借りた人には一言感想またはお気に入りの言葉を書いてもらうことで、読書月間カードのポイントを加算している ・タブレットでも閲覧できるようにしている 	小・中学校
	できていない	1 施設 小1			
児童・生徒が読書する時間の確保に努め、一冊を読み通す達成感を体験させるための読書イベント等を企画実施します。	できている	10施設 小6・中4	100% (10/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに読書月間を設け、その期間は朝読書を実施している ・読書旬間をはじめとするイベントを企画実施している ・本の紹介や帯づくり等、読書推進のためのイベントを適時行っている ・読書月間で読書イベントを企画・実施している ・年2回の読書週間の実施 ・図書委員会の企画として、読後の感想を伝えるとしおりが貰えるイベントなどを実施 ・朝読書の実施。図書委員会でポイントカード用意し1冊につきスタンプを1つ、「ようこそ本の世界へ」で紹介している本は2つ押し、カードがいっぱいになると図書委員手製のしおりと交換している ・図書館だよりや特集展示等で啓発している。また、朝読書など本を読む時間をとることを検討中 ・毎日朝読書の時間がある。読み通すかどうかは本人の意思に任せている ・朝読書の実施。国語科で読書マラソンを年間を通して実施 	小・中学校
	できていない	0 施設			
児童・生徒の興味・関心や発達段階に応じて、自ら本を選び読書の幅を広げるための展示や掲示を工夫します。	できている	10施設 小6・中4	100% (10/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に合わせて本の展示や掲示を工夫している ・図書委員のおすすめや、四季の本を紹介している ・主に図書室前に展示コーナーを設けている。また、食育との連携で給食室前に展示することもある。 ・季節、イベントにあわせ実施（例：ワールドカップ→国旗の本 など） ・図書の時間に必ず借りる1冊として学年ごとに目印がついた本を分けて配架している ・季節にあった本を展示したり、毎週月曜の昼食時に実施しているお昼の放送で図書委員が図書室にある本を1冊選び紹介している。読書週間の候補作は、図書委員がポップ・ポスターを作成している ・調べ学習の本や教科のテーマにあった本を集めて展示。タイムリーなテーマや季節に合わせた展示も行っている。今年は保健室とのコラボ企画も実施した ・隔週ごとに図書館教育ニュースを活用してポスターと当該本を展示、図書委員会で毎月のテーマを決めてポスターを作成して各フロアに掲示し、本も展示している ・新着本の紹介や学校行事に合わせた本の展示等 	小・中学校
	できていない	0 施設			
自ら友達や同世代に向けて読書の楽しさを発信するビブリオバトル等の活動を通じ、児童・生徒同士が交流できるよう取り組みます。	できている	9 施設 小6・中3	90% (9/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・教室で児童がブックトーク等を行っている ・夏休みや冬休みなどに、おすすめ本を書いてもらっている ・授業の中で本の紹介等を行っている ・本の帯づくり交流、図書委員の動画発信 ・秋の読書旬間では毎年ノンフィクションを読み各自ポップを書いて教室に展示している ・委員会活動で、本の紹介を継続的に行っている ・読書月間には、図書委員会が主催する「友達にすすめる本」を紹介するイベントを実施 ・国語の授業や読書月間の催しの中で取り組んでいる 	小・中学校
	できていない	1 施設 中1			
委員会活動等の機会を通じ、校内において学校図書館が身近な学びの場であることが伝わる活動に取り組めます。	できている	10施設 小6・中4	100% (10/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の児童が「色おみくじ」を作成し、ラッキーカラーにまつわる本を紹介して他の児童にその本を読ませている ・読書だけでなく、授業との連携に努めている ・図書委員会が中心となりポスター作りや本の紹介カードづくりなどに取り組んでいる ・委員会の常時活動や読書月間の企画・実施をしている ・本の帯づくり交流、図書委員の動画発信 ・図書委員がイベントを行う以外にも、放送委員が図書館の本を参考にする場合もある ・年2回紙芝居の動画配信を行っている ・図書委員会による「図書だより」の発行、校内に誘致ポスターやイベントポスターを貼っている ・本のPOPや本の作成、ブックトーク等を通して、身近な存在であることをアピールしている ・図書委員によるおすすめ図書のコーナー設置、図書だよりの作成 	小・中学校
	できていない	0 施設			
児童・生徒が課題を解決するための手助けとなるような資料の収集に努め、資料の使い方など、必要な指導や助言を行います。	できている	10施設 小6・中4	100% (10/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・本校が行う調べ学習のテーマに沿った資料の収集に努め、資料の使い方などの指導や助言を行っている ・著作権や引用のルールなどを国語と連携して教えている ・学校図書館司書が学習に必要な資料を集め、貸し出している ・教科学習の本を重点的に購入 ・各学年の単元にそって担任と協力して実施している ・授業を担当する教員の依頼に沿った資料を、できるだけ沢山収集するよう努めている。中央・他学校図書館から借り受けた資料も活用 ・行事や授業のテーマに合った資料を収集し、必要に応じて助言も行う。教員と学校司書の連絡を密にすることを心掛けている ・教員からの要望、生徒の必要に応じて行っている ・相互貸借や配送便を活用 	小・中学校
	できていない	0 施設			
学校の夏季休業期間中の課題や自由研究を支援するための資料収集と提供に努めます。	できている	7 施設 小4・中3	70% (7/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や自由研究のテーマを事前に調査し、支援するための資料収集と提供に努めている ・学校図書館司書が学習に必要な資料を集め、貸し出している ・今年度は夏休みの開館が中止となった。しおりを配布しサポート体制を組んで対応した ・要望に応じて資料提供している ・テーマの依頼があれば相互貸借などを利用して本を集めている ・夏季休業中の開館日を設けている 	小・中学校
	できていない	3 施設 小2・中1			
情報検索ツールの一つとして、オンライン百科事典を活用します。	できている	7 施設 小5・中2	70% (7/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員向けにオンライン百科事典の研修を行った。これから多く活用する予定 ・使用方法、活用例などを準備中 ・「もっとさがそっか」を活用している ・sagasokka!を導入して、3年生以上で活用 ・徐々に利用が広がっている ・今年度2年生がSDGsについて調べる際に、プリタニカ・スクールエディションの電子百科事典を導入して活用した ・教科（国語、理科、社会、総合）の中で必要に応じて活用している 	小・中学校
	できていない	3 施設 小1・中2			

児童館・児童センター・学童クラブでは、職員等による読み聞かせの時間をもつとともに、地域のおはなしグループによるおはなし会の実施に努めます。	できている	2施設	25% (2/8)	・月1回小学生向けに地域のおはなし会団体の方によるおはなし会を実施 ・専門の講師（地域在住のボランティアだが専門家）によるおはなし会を実施。原則として月2回、乳幼児・小学生の年齢別に実施（計4回）	児童館・児童センター 学童クラブ
	できていない	6施設		・集団で集まる時間がなく、読み聞かせの時間をもつことができない ・読み聞かせのボランティアの方を呼んでみたいと思っているが、小学生のところにきてくれるかと考えて実行できていない ・飛沫感染防止のため ・個々により降所時間がまちまちであること、手のかかる児童が増えていること、コロナ禍であること ・コロナ禍により、参加できていない	
図書館の団体貸出しを活用し、資料の充実を図ります。	できている	1施設	12.5% (1/8)	・図書館団体貸出しについての情報を知らないため ・館には小さいながらも図書室があるので、原則としてその図書の充実を図る方向で進めている。混乱を避けるため団体貸出しは利用していない ・児童が個人で借りているため、団体としては活用しなかった ・本を逐一消毒しており、借りた本を消毒すると痛めてしまうか心配なため ・管理、消毒の難しさ	
	できていない	7施設			
児童・生徒の読書への意欲をかきたてる資料を研究し、計画的に資料を整備します。	できている	10施設 小6・中4	100% (10/10)	・児童の読書への意欲をかきたてる資料を日々研究し、整備に努めている ・毎週新着本を出すように心がけている ・担任から学校司書に伝え、整備を進めている ・新入荷図書の紹介・掲示や季節ごとのテーマにそった展示を実施している ・自校にない本についてはクイズ用紙に記入してもらい、他校や市内図書館から借りて貸し出しをしている ・「ようこそ本の世界へ」改訂、新刊本リスト「こんな本どう？」を毎年作成。おすすめの本として展示している ・生徒に読んでほしい本と生徒が読みたいであろう本のバランスをとりながら資料の収集・整備を行っているつもりだが、貸出冊数が伸びないのは生徒の意欲をかきたてられていないのかもしれない ・分類毎の蔵書のバランスをみながら利用統計も参考に整備している	
	できていない	0施設			
各教科や領域の学びを広げ深めるための資料の研究や収集に努めます。	できている	10施設 小6・中4	100% (10/10)	・本校の学びに必要な資料を収集している ・自校での不足分は公共図書館に依頼している ・担任から学校司書に伝え、整備を進めている ・SLA選定図書、狛江市立図書館の学校貸出資料、日販選書センターを参考に収集している ・学年担当からも購入希望などを聞いて資料を提供している ・収集し貸し出した資料については、授業担当の教員に使いやすい資料等を確認するよう心掛けている ・テーマにあった本を収集。できるだけ広く展開できる資料を集めるよう心がけている ・資料の収集に努めているつもりだが、利用は少ない ・使用教科書や総合で必要とされる資料の収集に努めている	
	できていない	0施設			
学級文庫用図書の充実を努めます。	できている	9施設 小6・中3	90% (9/10)	・本校の蔵書から学級文庫用の本を選び、児童が興味を持つ本を学級文庫にしている ・除籍資料だけではなく、寄贈やリサイクル本も活用している ・担任から学校司書に伝え、整備を進めている ・年度内でも定期的に入れ替えを実施している ・学校司書が選ぶほかに各クラスの図書委員のお薦めの本を入れたり、中央図書館から「enjoy reading！」のセットを借りたりしている ・学級文庫用という図書が特別にあるわけではないが、図書館の本の中から図書委員が随時（クラスによって2週間に一度～学期に一度まで）10冊ずつ入れ替えをしながら選んでいる ・ジャンルの偏りなく、短時間でも読める本。図書委員も選書に参加	
	できていない	1施設 中1			
不必要になった資料の定期的な払い出しや除籍を行い、蔵書の更新・補充に努めます。また、そのための除籍の基準を検討します。	できている	10施設 小6・中4	100% (10/10)	・不必要になった資料、使用に耐えない資料等を除籍し、その分必要な資料を更新・補充している ・定期的な払出しは行っているが、校内の基準の設置は不明 ・一定の基準により定期的な払い出しや除籍を行っている ・「学校図書館図書廃棄基準」（SLA）を参考に除籍をすすめている ・破損の程度や貸出しの頻度など定期的にチェックして実施している ・全国学校図書館協議会から出ている学校図書館図書廃棄基準や他校の図書館の状態を参考にしている ・年に一度、除籍基準に則り除籍 ・除籍に関しては迷うことも多いが、他校や公共図書館の蔵書も参考にしながら定期的に行っている ・学校図書館図書廃棄基準を元に行っている	
	できていない	0施設			
学校司書や司書教諭が児童・生徒と接する時間を確保できるよう、円滑な業務遂行ができる環境を整備します。	できている	9施設 小5・中4	90% (9/10)	・図書委員に貸出・返却業務を一部依頼し、学校司書が児童へのレファレンス等を行っている ・常にコミュニケーションをとるように心掛けている ・週4日勤務のため、児童と接することができない日が週に1日ある ・日常的に支障なく遂行している ・入学後にガイダンスを実施している ・司書教諭と学校司書が連携を取り随時打ち合わせのうえ、図書委員と共に図書館の整備に努めている ・昼休みや放課後、自由に本を閲覧できるようにしており、システムの運用で環境が整っている ・昼休み、放課後の開館	
	できていない	1施設 小1			
学校司書や司書教諭への操作研修を実施し、円滑な学校図書館運営に努めます。	できている	7施設 小3・中4	70% (7/10)	・適宜行っている ・図書館協議会、司書連絡会などで実施 ・学校司書の研修等は行っている。司書教諭の研修もできる時間を確保したい ・システムに関しては主に学校司書が担当 ・初任者研修はあったが、それ以外はないのでは ・勤務時間の制約があり実施する時間が取れない ・マニュアルで都度確認する程度	
	できていない	3施設 小3			
学校図書館の運営に各種統計を参照するため、分類等の共通化を図ります。	できている	9施設 小5・中4	90% (9/10)	・分類等はTRCによるため、共通化は図れている ・利用状況に応じて分類の操作をしている ・共通の分類項目を使用している ・日常的に支障なく遂行している ・分類表に従っている ・年度末に報告する（利用状況、蔵書内容など） ・基本的にTRCが本の分類・装束をしたものを受け入れているので、共通化は図れていると思う。ただし、受け入れ後に本の内容によって分類を変更する場合もある ・ヘルプデスクやシステム担当者に関わらせることもある	
	できていない	1施設 小1			
児童・生徒の利用動線に配慮し、書架配置や必要に応じて案内表示を工夫します。	できている	10施設 小6・中4	100% (10/10)	・書架配置や案内表示を工夫している ・本を探す際に窮屈にならないようにしている ・新しい書架を購入している。表示の工夫も行っている ・コロナ前とは変わっていますが、都度必要な案内は行っている ・図書室の見取り図をドア付近2か所に掲示している ・できるだけ死角を作らないよう書架を配置。生徒の移動がスムーズになるよう気をつけている ・必要に応じて書架配置や案内表示は変更・工夫しているがまだ十分とはいえない。もう少し表示を大きくする必要を感じている ・人数制限を行っているため、番号札を取って入室（当初15人、現在20人まで）	
	できていない	0施設			

空間の確保、椅子・本棚等の不足や老朽化への対応に努めます。	できている	9 施設 小5・中4	90% (9/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事の実施により様々な確保ができた ・安全点検を行い、修繕、又は廃棄の処理を行い新しいものを購入している ・児童の安全のため買い替えを進めたい ・若干劣化が見られるが、年度修理等対応している ・机、椅子ともに十分に新しく安心して使える状態だと思う ・日々、安全点検を行っている。昨年度一部本棚の入れ替えを行った ・できる範囲で工夫しているが、予算との関係で難しいこともある ・2人掛け、3人掛けのソファは未だ取り払ったまま 	小・中学校
	できていない	1 施設 小1			
児童への読み聞かせスペース、生徒が集中して学習できる機の配置等の工夫に努めます。	できている	9 施設 小5・中4	90% (9/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症拡大防止のために、1つの机に座る人数を4人以内に机を増やしたため、読み聞かせスペースは無くなったがゆとりと座れるため児童が集中して学習できるようになった ・工夫しているが、図書室が狭いため限界がある ・現在は感染症対策としてパーティションの設置もしている ・現在コロナ対策で読み聞かせスペースはなくなったが、適宜対応している ・机に対して椅子が少し大きい、授業や放課後の利用でも問題なく使用できているように思う ・読み聞かせのスペースは特に作っていない。グループワークができるように机を配置している ・くつろげるスペースを減らし、集中して学習に取り組める配置にした ・パーティションを設置し、椅子は1テーブル6脚から4脚に減 	
	できていない	1 施設 小1			
児童・生徒が自ら蔵書を検索できる環境を整備します。	できている	5 施設 小2・中3	50% (5/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・分類表を掲示し、自分で探すことができるようになっている ・休み時間に図書委員が蔵書検索を行っている ・書棚の上に分類番号（NDC）や本の内容のテーマを貼っている ・分類表示、館内案内図などを目につきやすい場所に設置 ・図書委員のみ可能 	
	できていない	5 施設 小4・中1			
新しい生活様式に対応した利用ができるよう、環境の整備等に努めます。	できている	9 施設 小6・中3	90% (9/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の整備に努めている ・パーティション設置や身体的距離の確保に努めている ・タブレットで検索できるように工夫している ・密にならないように、図書館の人数を調整して利用できるようにしている ・間隔をあけて並べようガイドを付けるなど適宜対応している ・密にならないように椅子の数を減らしている。貸出手続きの際、適切な距離を保てるように足型マークを床に設置した。ドア前にアルコールを設置し、開館前には学校司書が清掃している ・生徒が自ら蔵書検索できるPCやタブレットが図書館にはない。パーティションを設置するなどコロナ対策を実施している ・換気、入口での手指消毒、返却本の消毒 	
	できていない	1 施設 中1			
校内に学校図書館活用委員会を設置し、学校全体で学校図書館を活用します。	できている	4 施設 小3・中1	40% (4/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科部会で図書担当の教員が2名置かれている ・年度はじめの指導計画の際、図書館の活用を盛り込んでいる ・校務分掌に司書教諭が位置付けられている 	
	できていない	6 施設 小3・中3			
学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭が身に付けるための研修を実施します。	できている	5 施設 小3・中2	50% (5/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン百科事典の研修を行った ・研修を適宜行っている ・連絡協議会に参加している ・市内だけでなく、広く研修ができるように機会を確保しているが、持ち時数の関係から出張は困難 	
	できていない	5 施設 小3・中2			<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修はあったが、それ以外はないのでは ・現在特に実施していない ・実施していない
小・中学校の司書教諭と学校司書が、連携を図るための合同連絡協議会を開催します。	できている	10 施設 小6・中4	100% (10/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館連絡協議会が実施されている（同意見他3件） ・定期的な開催で情報共有をしている ・年に4回実施している ・十分ではないが、定期的に開催されている ・司書教諭と学校司書の打ち合わせの時間を確保している 	
	できていない	0 施設			
学校図書館の校内運営及び学校間の連携のあり方について協議し、共有ガイドラインを作成します。	できている	4 施設 小2・中2	40% (4/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・校内運営や学校間の連携のあり方について協議している ・学校図書館連絡協議会で、市内学校図書館の取り組みを情報共有したり、図書館のあり方について協議している ・年間計画の作成。連絡協議会で活動している ・校内の運営委員会、職員会議を通し学校図書館のあり方について共有している 	
	できていない	6 施設 小4・中2			<ul style="list-style-type: none"> ・各学校ではあるものの、共通のものはないのでは ・ガイドラインは作成していない ・各校で独自のマニュアルとなっているので、システム以外での共有ガイドラインとはいえない ・定期的な連携ができるように、管理職を交えた会議を設置したい
図書館ホームページ上の掲示板を、各学校図書館と市立図書館の情報共有に活用します。	できている	4 施設 小3・中1	40% (4/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・活用している ・配送便、団体貸出等で活用している。今後は教員への周知をさらに図りたい 	
	できていない	6 施設 小3・中3			<ul style="list-style-type: none"> ・活用ができていない ・PCを児童が使用している時間が多く、活用する時間が確保できない ・常にホームページをチェックすることが難しく活用できていない ・学校図書システムから市内図書館の資料を検索できるようになったこと、メールで連絡を取れるので不便は感じていない ・利用はできていない ・図書システムで市立図書館の資料検索もできるようになった。連絡はメールでできるので不便さを感じない
業務を円滑に行うための、学校図書館実務マニュアルの作成を進めるとともに、必要に応じて見直します。	できている	7 施設 小4・中3	70% (7/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・作成済 ・各学校では存在するが、共通のものを作成すべき ・図書館業務で疑問に感じたことなどはメールや電話で他校学校司書に相談して情報共有している。卒業生未返却本についての対応を統一したい ・システムのマニュアルは有 	
	できていない	3 施設 小2・中1			<ul style="list-style-type: none"> ・作成の場がない ・現状時間がとれず対応できていない ・以前、司書連絡会で学校図書館マニュアルを作成したが改訂が必要と思われる
効率的に業務を行うために研鑽が図れるよう、実務研修を実施します。	できている	7 施設 小3・中4	70% (7/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度行っている ・年に1回程度研修会を行っている ・連絡協議会に参加 ・司書連絡会の中で実施 ・実務研修の機会を設けている 	
	できていない	3 施設 小3			<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況が不明 ・定期的にあると思う

児童館・児童センター・学童クラブでは、計画的に図書の実を充実を図ることに努めます。	できている	8施設	100% (8/8)	・定期的に本を購入している。子ども達に意見を聞く機会を設けている ・館の図書室では、毎月必ず「おすすめ本」として1冊は新しく本を入れている。その他適時本を入れる場合もある。特に夏休み・冬休み等の長期休み期間の前に、多少の本を揃えて入れるようにしている	児童館・児童センター 学童クラブ
	できていない	0施設			
学校図書館では、読書補助用具を備え、読みへの抵抗を和らげる手立てを検討し、設備の充実を図ります。	できている	7施設 小6・中1	70% (7/10)	・リーディングトラッカーやルーラーの貸出を行っている ・読書補助用具はあるが、十分な量ではない ・リーディングスリット作成、活用 ・手製のリーディングトラッカーを作成、必要に応じて案内している	
	できていない	3施設 中3			
学校図書館では、館内掲示を大きくし、手順をわかりやすく表示するためピクトグラムを添えるなど、文字だけに頼らない工夫をします。	できている	8施設 小6・中2	80% (8/10)	・できるだけわかりやすく表示するよう努めている ・毎年館内配置図を作成し、イラストを多く活用している ・絵やピクトグラムを用いて表示している ・棚の上や壁などに大きめの表示を掲示している ・NDCの分類表を活用し、ピクトグラムを用いて館内掲示している ・イラスト入り分類表示を使用	
	できていない	2施設 中2			
学校図書館では、特別支援学級の読書活動を支援する取組に努めます。	できている	7施設 小5・中2	70% (7/10)	・本校には固定の特別支援学級があるため、日々支援している ・デジ教科書や国立国会図書館を活用 ・特別支援学級の教員と連携し、指導を進めている ・国語や美術、修学旅行の下調べ等、授業での図書室利用がある。過去には学級文庫も準備していた ・教員向けの資料を購入し、相談室に常設している	小・中学校
	できていない	3施設 小1・中2			
日本語を母語としない児童・生徒の読書活動の支援に努めます。	できている	6施設 小5・中1	60% (6/10)	・簡単な英語の本を所蔵し、他の言語については中央図書館から借用している ・音声教材、資料等を使い支援している ・外国語の本を揃えている ・支援員と連携して適宜対応している ・英語に限らず外国語の書籍購入に努めている	
	できていない	4施設 小1・中3			

4 総括

取組の総括
<p>長年にわたり市内の小・中学校全校に学校司書を配置し、図書館と連携することにより各学校での授業支援や読書活動の充実を図っている。図書館においても児童図書の収集と推薦図書リストの定期的な更新、ホームページにおける子ども用ページの設定等、様々な方法により小・中学生の読書活動の推進に取り組んでいる。</p> <p>電子書籍の活用はタブレット端末の配布等で閲覧環境が整備されており、様々な方法で本に触れることができる意義がある一方、データベースよりも多くの種類がある紙媒体の二次資料を活用するための力を身につけることも必要である。そのため収集する資料のバランスを見極めることが重要であり、また、教育委員会が主導して共有ガイドラインを作成することや、「学校図書館活用ノート」を活用することなど、統一的な方法で図書館利用や資料の活用方法といった事項の指導・育成に取り組むべきと考える。</p> <p>図書館においては今後とも学校図書館との連携をさらに深め、団体貸出をはじめとした各施設への支援について更なる啓発・充実を図るとともに、子どもの読書に関わる人々の資質向上や、各種環境整備のフォローを行うなど、施設間の連携により様々な場所で読書環境を充実させる取組を進めていただきたい。加えて、これまで市が取り組んできたことの継続性を担保し、積み上げてきた財産が次世代に引き継いでいけるよう努められたい。</p>

第四次狛江市子ども読書活動推進計画 取組状況シート

1 計画概要

計画	高校生等の読書活動推進	担当部署・施設
概要	ヤングアダルト（YA）世代の読書活動では、自ら考え判断し進学や就職などこれからの進路に向き合うとき、本を活用することが望めます。また、同世代と読書を通じて繋がる活動や、周囲へ発信する活動を推進します。	図書館
現状と課題	図書館の個人登録割合は高校生世代から大きく減少しており、高校生等が本と親しみ活用する取組をより一層推進することが求められる。電子書籍等を活用した子ども達の興味関心に寄り添った蔵書の充実や、利用者同士の交流に繋がる取組の実施が必要である。	

2 計画に係る取組内容

No.	個別内容	取組の方向性	具体的取組	担当	前年度までの取組状況（成果）	取組内容・予定（令和4年度）	今後の取組達成予定等
1	(1) 図書館におけるYAサービスの実践	高校生等が図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、図書館におけるYA資料の充実を図ります。	(ア) YA世代のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。また、対象者向けの新着図書などを特集コーナーで積極的に紹介します。	図書館	(令和5年度作成時から記載)	児童書と一般書の中間となる場所にYA資料専用のコーナーを設置し、各分野の資料について収集と提供に努めた。 中高生にすすめる本を紹介する推薦図書リスト「Enjoy Reading!」を作成して中高生の身近にあるテーマを中心に選定した資料の紹介を行ったことに加え、一部は図書館職員の推薦文を記載したPOPを併せて展示するなど、効果的な周知を図った。	
2	(2) 「こま電子図書館」のYA向け電子書籍の充実	刊行頻度が高いライトノベルや記述式のページがある問題集など、紙の本では積極的に収集していない種類について電子書籍の収集・提供を検討します。また、世代特有の悩みなどセンシティブなテーマを扱った本は、電子図書館でも備えることで他人に知られることなく利用することができるなど、世代特有の環境に配慮した資料提供に努めます。	(ア) 「こま電子図書館」では、YA世代に向けた電子書籍の収集と提供に努めます。	図書館（新）		こま電子図書館において、センシティブなテーマを扱った本に加え、読みやすい形式の学習参考書等の収集に努めた。	
3	(3) 都立狛江高等学校と市立図書館の連携	都立狛江高等学校では、市外から通う生徒が多いため、生徒が狛江市の図書館について知る機会をつくり、連携のあり方を検討します。	(ア) 引き続き都立狛江高等学校へ、図書館の利用案内や推薦図書リストを配布します。 (イ) 引き続きイベントのお知らせや「図書館だより」などを配布します。	図書館		利用案内や推薦図書リスト、図書館だより、事業報告の配布を行った。	
4	(4) 特別な配慮を必要とする青少年とその保護者への読書支援	特別な配慮を必要とする青少年とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	(ア) バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。 (イ) 外国語の絵本を収集します。 (ウ) 「こま電子図書館」で読み上げ機能がある電子書籍の収集に努めます。 (エ) 利用支援サービスにおいて、希望図書の音訳を行います。 (オ) DAISY図書を活用した読書活動の支援を行います。 (カ) 利用支援サービスの情報発信に努めます。 (キ) 日本語を母語としない青少年の読書活動の支援に努めます。	図書館		バリアフリー関連資料・外国語資料・読み上げ機能がある電子書籍の収集、音訳・DAISY資料の製作を行い、資料の充実に努めた。 図書館ホームページに専用ページを設けて利用支援サービスの情報発信に努めた。	

3 施設アンケート等結果

具体的取組	取組の達成状況	達成割合	実施状況や課題等	担当施設
(該当なし)				

4 総括

取組の総括
YA資料の収集と提供に努め、特に電子書籍においてはこれまで図書館が扱っていなかった資料の収集を開始し、「小説」や「ドリル・受験」等のカテゴリー分けにより提供するなど利用者に伝わりやすい工夫をしている。POPの作成や読書に関する写真展といった高校生等でも参加できるイベントの実施に努めた。 一方、参加することの楽しさをより一層感じられるイベントの実施や、高校生世代が利用する施設と連携して効果的な周知を図るなどの取組が必要である。高校生等の利用が更に充実するための取組を実施していただきたい。

第四次狛江市子ども読書活動推進計画 取組状況シート

1 計画概要

計画	地域における読書活動推進	担当部署・施設
概要	子どもの読書活動の推進には、地域の方々の活動も不可欠です。読書が子どもの成長に欠かすことのできないものであることを理解し、子どもと本をつなぐ活動に携わる多くの大人の協力が必要です。地域で活動する方々が連携することで、新たに子どもの読書活動に携わる人材を育成することを目指します。	地域センター 公民館 図書館
現状と課題	子どもや、子どもと本をつなぐ活動に携わる人が地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図るため、図書館と各施設の連携、図書館と地域の方々の協働をより一層充実させるとともに、子どもと本を繋ぐ活動に携わる人の育成に取り組むことが求められる。	

2 計画に係る取組内容

No.	個別内容	取組の方向性	具体的取組	担当	前年度までの取組状況（成果）	取組内容・予定（令和4年度）	今後の取組達成予定等
1	(1) 地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携	地域で子どもへの読み聞かせやストーリーテリングなどの読書活動に取り組む団体との連携を図ります。	(ア) 地域の団体の活動の把握に努め、近隣の子ども関連施設等に情報が届く仕組みを検討します。 (イ) 地域の団体と情報交換を行い、連携のあり方を検討します。	図書館	(令和5年度作成時から記載)	市民活動支援センターとも連携して地域団体の活動の把握に努めるとともに、市内の子ども関連施設に対し、市内で活動するおはなしグループ・ボランティア団体のうち情報提供を希望する団体について、各団体が作成したチラシを配布し活動内容の周知に努めた。秋の読書週間に各団体と連携したおはなし会事業を実施し、併せて情報交換と更なる連携の推進を検討する。	
2	(2) 子どもと本をつなぐ活動に携わる人の育成	子どもが身近で本と出会う機会をつくるため、地域において、子どもと本をつなぐ活動に携わる人を育成します。	(ア) 子どもの読書に関心のある方を対象に「児童行事実技講座」を実施します。 (イ) 「児童行事実技講座」受講者を対象に、地域で活躍していただける仕組みを検討します。	図書館		児童行事実技講座を実施し、おはなし会の実施や紙芝居の演じ方についての講習を通しておはなし会に携わる人材の養成に努めた。	
3	(3) 子どもの読書に関する講座等の実施	子どもの読書活動に関する市民の要望に応えた講座や講演会を実施します。	(ア) 図書館では、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携し、市民のニーズや今日的課題に応えた講座・講演会を実施します。	地域センター 公民館 図書館		【地域センター】こども一日図書室員を実施し、図書に触れることで図書・読書への活動推進を図った。 【公民館】居場所事業「にこにこ広場」において、図書館から乳幼児を対象の本を借り受けて事業を実施した。 【図書館】大型絵本等のおはなし会用資料の提供により各図書室の支援をするとともに、各施設と連携して講座・講演会の実施に努める。	
4	(4) 図書関連施設職員の情報共有		(ア) 地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、地域での取組について情報を共有します。 (イ) 西河原公民館では、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、定期的なおはなし会の開催を継続します。	地域センター 公民館 図書館		【地域センター】会議等に参加し、図書館との情報共有、連携を図った。 中央図書館から児童担当司書を招き、蔵書、配架等について相談しアドバイスを受けた。 【公民館】子どもと保護者を対象とした西河原公民館図書室の「おはなし会」では、絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居や折り紙、季節の工作など多彩なプログラムを実施している。 会議等に参加し、図書館・地域センターと情報を共有している。 【図書館】「図書館・図書室連絡会」を実施し、図書館と各図書室間の情報共有と課題解決のための連携の充実を図った。	

3 施設アンケート等結果

具体的取組	取組の達成状況		達成割合	実施状況や課題等	担当施設
	できている	できていない			
図書館では、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携し、市民のニーズや今日的課題に応えた講座・講演会を実施します。	できている	0施設	0% (0/5)	・限られた人員で時間的な余裕もないため ・センターの利用者層が高年齢なため、企画事業等が高齢者向けの物が多い ・ポスター、チラシの広報にとどまっているので利用者のニーズの吸い上げにも取り組みたい	地域センター 公民館
	できていない	5施設			
地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、地域での取組について情報を共有します。	できている	4施設	100% (4/4)	・中央図書館で発行された冊子に掲載された資料を参考になるべく購入することに努めている ・電話やメール等、こまやかにご連絡いただいている ・中央の児童担当司書に入室してもらい蔵書、選書、配架など相談しアドバイスを受けた	地域センター
	できていない	0施設			
西河原公民館では、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、定期的なおはなし会の開催を継続します。	できている	1施設	100% (1/1)	・毎週おはなし会を行っている。季節のおすすめ絵本の展示、中央図書館作成リストに掲載された本のコーナーを作っている	公民館
	できていない	0施設			

4 総括

取組の総括
<p>地域で活動するおはなしグループ等の把握に努めるとともに、図書館において各団体が参加する形でのおはなし会を実施するなど、関係性の構築を図っている。また希望する団体の情報を保育園等の関連施設に周知し、施設と団体の連携推進に繋げた。</p> <p>一方、施設アンケート等結果からは、図書館と各図書室施設間の連携は図書室運営の基本的な事項に留まっているように見受けられる。地域の身近な場所で子どもたちがたくさん本に触れることができ、また子どもと本をつなぐ活動に携わる人の学びがより充実したものとなるよう、図書館から連携強化を働きかけ、図書館と各図書室施設間の連携による取組を進めていきたい。</p>

第四次狛江市子ども読書活動推進計画 取組状況シート

1 計画概要

計画	普及・啓発	担当部署・施設
概要	子どもの読書活動の大切さについて、広く市民の関心と理解を深めるための普及・啓発に努めます。	図書館
現状と課題	子ども読書啓発事業は、小・中学校と連携して事業を実施し配布率向上へ向けた取組が進んでいる一方、配布タイトルが固定化している。感染症拡大防止を意識しつつ、読書関連イベント等の普及・啓発に繋がる取組を更に充実させることが求められる。	

2 計画に係る取組内容

No.	個別内容	取組の方向性	具体的取組	担当	前年度までの取組状況（成果）	取組内容・予定（令和4年度）	今後の取組達成予定等
1	(1) 子ども読書啓発事業の取組	平成15年度に開始したブックスタート事業に続き、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけをつくり自発的な読書活動につなげるための取組として、平成25年からセカンドブック事業、平成29年にはサードブック事業を開始しています。配布方法については、小・中学校と連携して行います。	(ア) 引き続き乳児を対象に、絵本を贈呈するブックスタートに取り組みます。 (イ) 引き続き市立小学校と協力するなど、新小学1年生を対象に、本を贈呈するセカンドブックに取り組みます。 (ウ) 引き続き市立中学校と協力するなど、新中学1年生を対象に、本を贈呈するサードブックに取り組みます。	図書館	(令和5年度作成時から記載)	ブックスタート事業の実施に加え、セカンドブック・サードブックを小・中学校と連携して実施し、学校における読書指導に活用できるようにするなど、子どもが早期から読書に親しむ環境の充実に加え、継続的に読書活動につなげるための取組を行った。	
2	(2) 「子ども読書の日」に合わせたイベントの開催	子どもの読書活動の大切さについて、広く市民の関心と理解を深めるため、国の定めた「子ども読書の日」の趣旨に沿ったイベントを開催します。	(ア) 4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」に合わせ、子どもの読書に関するイベントを開催します。	図書館		こどもの読書週間イベントとして、中身を伏せた絵本を梱包して貸出する「ひみつのこづつみ」、屋外スペースにおける「青空おはなし会」の実施に加え、子ども一日図書館員を実施し、子ども読書活動の推進に努めた。	
3	(3) 家庭における読書活動の推奨	子どもの読書活動を習慣づけるためには、乳幼児期をはじめとして、最も身近な場所である家庭で本に親しむことが有効です。家庭における読書を推奨します。	(ア) 乳幼児の保護者に向けて、図書館の利用案内を配布します。 (イ) 読み聞かせに向く絵本のリストを作成し、配布します。	図書館		乳幼児の親子での図書館利用方法等に関する案内の配布、各種推薦図書リストの配布により、家庭における読書活動の支援に努めた。 ブックスタートや児童行事実技講座において、絵本の読み聞かせ方法や紙芝居の演じ方についての周知啓発を図った。	
4	(4) 新しい生活様式に対応した各種行事、講座等の実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等を念頭に置き、新しい生活様式に対応しつつ、より子どもたちの興味関心に寄り添った形での行事イベントや講座等の実施を工夫します。	(ア) 「児童行事実技講座」等の講座・講演会を実施するに際しては、基本的な感染予防対策を徹底します。 (イ) 子どもたちが密にならず、自分のタイミングで参加できるようなブックレビュー等の設置型のイベントや屋外でのおはなし会を企画します。 (ウ) 先進的事例等の情報収集に努め、各施設の取組とも連携し、より子どもたちの読書意欲を喚起する取組を検討します。	図書館（新）		「図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」等に基づき、感染症拡大防止対策を徹底しながら工作教室や写真応募企画等を実施し、より子どもたちの読書意欲を喚起する取組に努めた。	
5	(5) 読書手帳の配布	子どもが読んだ本の情報を書き記すことで自身の読書傾向を把握し、さらなる読書意欲を喚起させる取組として、「読書手帳」を配布します。	(ア) 中学生以下の子どもを対象に、貸出中の本の情報をシール印刷して貼付することができる「読書手帳」を配布します。	図書館（新）		読書手帳の配布とともに、市内小学校と連携した活用の推進や、子どもが参加するイベントでの読書手帳利用啓発等を行い、さらなる読書意欲を喚起させる取組に努めた。	

3 施設アンケート等結果

具体的取組	取組の達成状況	達成割合	実施状況や課題等	担当施設
(該当なし)				

4 総括

取組の総括
<p>子ども読書啓発事業のブックスタート、セカンドブック、サードブックは、いずれも開始から一定の期間が経過し周知が進んでいる。特に近年はセカンドブック・サードブックを小・中学校と連携して実施することにより、配布率の向上等に繋がっている。屋外でのおはなし会や応募・参加型のイベントを実施するなど感染症拡大防止対策を確保したうえで読書啓発に繋がる子ども読書関連イベントを行い、読書の普及・啓発を図っている。</p> <p>一方、図書館ではセカンドブック・サードブックの配布タイトルの見直しや、配布後の継続的な読書推進に繋げることが必要である。図書館以外の施設とも連携して、配布タイトルの検討やイベント時に読書習慣の形成に繋がる取組の推進に努められたい。また各種イベントについては、感染症拡大防止を工夫しつつ更なる充実が求められる。ブックスタート、セカンドブック、サードブック、各種子ども読書関連イベント等の機会をとらえ、読書習慣の形成に資する取組を進めるとともに、図書館HP、図書館だよりなど、図書館の取組のPRと読書の楽しみを子ども達に伝えていくことに取り組んでいただきたい。また、そのためにも各図書室・学校図書館等とも連携してより一層の取組を進めていただきたい。</p>